

支援便り



令和4年4月発行
第1号
串木野養護学校
支援部

新しい年度がスタートし、園や学校では子供たちの元気な声、輝く笑顔があふれていることと思います。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、巡回相談、串養夏季セミナー等ご希望に添えず、申し訳ありませんでした。本年度も先が見通せない状況ですが、できる範囲で、地域のセンター的機能の役割を果たしていこうと思いますので、よろしくお願いします。

なお、地域サポートとして、相談支援、研修支援、学校見学などの形で、地域の先生方の御相談をお受けいたします。詳しくは、リーフレット「地域サポートの御案内」をお読みください。

今年度のコーディネーター

川上 明美	木元千代子	伊瀬知和枝	朝倉 勉
濱崎いつ子	今村 広海	神崎 英一	四元 明美
松元伸太郎			

以上9人です。よろしくお願いします！

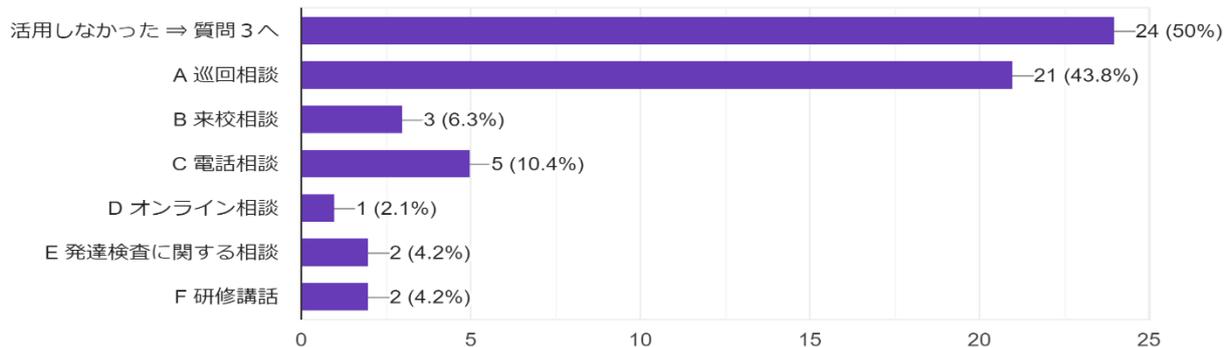


今年度は、串養夏季セミナーを新型コロナウイルスの感染拡大防止に留意しながら、7月26日(火)に開催予定です。

令和3年度 センターの機能に関するアンケート結果より

昨年度末に、本校の支援対象校・園に対し、特別支援学校におけるセンター的機能の反省アンケートをお願いしたところ、お忙しい中、48の学校・園に御回答いただきました。ありがとうございました。寄せられた御意見は、今後のサポートに生かせるよう努めて参ります。

1 今年度、串木野養護学校の地域支援事業を活用されましたか
48件の回答



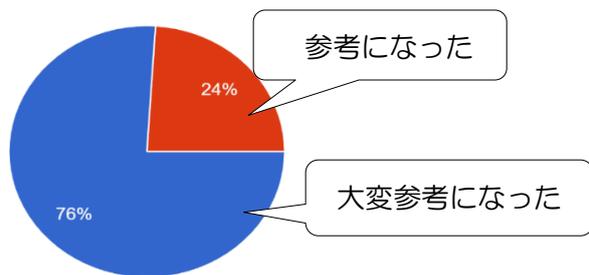
「活用しなかった」理由をお聞きした質問3の主な回答は、以下のとおりです。

- 希望したがコロナ感染拡大により実施できなかった。(37.5%)
- 学校・園内で対応できる。(12.5%)
- 日程の都合がつかなかった。(12.5%)
- 対象児童生徒がいらないため必要ない。(8.3%)



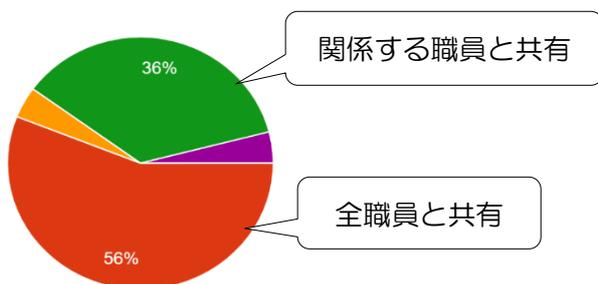
2 本校の支援事業を利用された学校・園にお聞きします。

(1) 相談員の提案・助言等は参考になりましたか。



コロナ禍で時間が限られた中での実施でしたが、「参考になった」、「大變参考になった」という回答が多く寄せられ、係として大變有り難く受け止めております。

(2) 相談員から提案された助言等の情報はどのように共有されていますか。



半数以上の56%の学校・園が「全職員で共有している」、36%が「児童生徒に関係する職員と共有している」という結果となり、担任だけでなく全職員の協力体制で支援に取り組んでいることが分かりました。

3 鹿児島県が作成した「移行支援シート」の活用状況を教えてください。

93.8%の学校・園が「活用している」、残り6.2%が「知っているが、活用していない」という回答でした。「移行支援シート」は支援に役立つ情報が記載されています。是非、活用していただきたいと思います。

4 現在、学校・園で特別支援教育の推進において課題に感じていることがありましたら教えてください。

主に、次の4つの課題が挙げられました。

- ・ 通常学級における支援が必要な児童生徒への支援
- ・ 保護者への理解や対応の難しさ
- ・ 個別の指導を充実させるための校内支援体制の難しさ
- ・ 就学指導・就学相談



今後の支援の参考とさせていただきます。

5 本校の相談事業について、御意見・御要望がありましたらお書きください。

本校に対して、ほとんどの学校・園が巡回相談や電話・来校相談などの形で、困ったときにすぐに相談できる存在であってほしいという声をいただきました。期待に応えられるように努力していきたいと思います。



以上アンケート結果でした。今年度も串木野養護学校支援部をどうぞよろしくお願い致します。